

会員研修会報告

報告者

平戸カヤックス 末永

J S C A九州ブロック会員研修会

開催日時：令和2年6月30日（火）～7月1日（水）9：00～16：00

開催場所：平戸カヤックス

研修開催地：6/30 荒崎海水浴場（平戸島西海岸） 7/1 生月島北東部海岸

講師：一滴 Paddle & Mountain Guide 中村 昭彦 氏

主管：平戸カヤックス

参加者：一般会員4名

- ・カヌースクール九州 西胤 正弘
- ・カヌースクール九州 砂田 絵理 （6/30 のみの参加）
- ・平戸カヤックス 末永 直樹
- ・平戸カヤックス 田中 昭一郎 （7/1 のみの参加）

研修内容

6/30 SUPアドバンストインストラクター検定会事前講習会

前日29日の雨は止んだが、南西の風が強く平戸カヤックス前の千里ヶ浜は、サーフ状態で海域を変えて実施した。

少しでもロケーションの良い海域を求め海水浴場としても人気が高い人津久の浜へ移動したが、こちらも風の影響で波が高かった。

その後、荒崎海水浴場へ移動して、消波ブロックで囲まれている海域で波と風を避けながらなんとかSUP講習を実施することができた。

今回のSUP講習は、アドバンストインストラクター検定会事前講習会であったが、漕艇技術・課目詳細内容を見ただけでは、実際の動きを想像する事さえ難しかったが、最初に机上講習で、SUPの基本的な動きの名称説明がなされたので、海上講習は比較的スムーズに入ることができた。

参加者の3名とも基本的に、SUPに乗る機会が少なく、検定を受けるとなるとかなり乗り込む必要性があることを痛感した。



7/1 シーカヤック講習会（ボートコントロール）

シーカヤックの講習内容は、事前には決めておらず参加メンバーと当日の海況で決めることとしていた。

前日までの南西の風は収まり、生月島西海岸でのサーフ講習と決め現地に向かったが、予想よりもはるかに大きな波で、砂浜ではなくゴロタ浜のため、風裏の東海岸へ移動して、ボートコントロール講習を行った。

普段、あまりシーカヤッカーが行わないフォワードからスライスしてからのバウドローで、特に掲げ手の使い方を教わった。その動きは、サイドスリップにも通じるものであった。

シーカヤックもSUPでも「背筋を伸ばす」ということを何度も指摘された。基本的に上手な方の漕ぎは、漕ぎ方が美しい、特に漕ぎの姿勢が美しいと感じた研修会でした。



講師所感

6月30日

SUP アドバンスト課程事前講習会

強風により会場の選択が大変でしたが、なんとか開催することができました。参加者全員 SUP のベーシック資格とカヤックのアドバンスト資格を所持しているため、パドリングの基礎知識は把握していましたので、SUP アドバンスト特有の言葉の定義を確認したあとはスムーズに行うことができました。パドルを使用するので、カヤックや SUP に共通する事柄はたくさんあり、そこを認識すれば比較的容易に受け入れることができると思います。あとは SUP アドバンストの乗り方を意識すれば上達は早いのではないかと思います。

西日本には SUP の IT がいないので、早急に西日本にも必要であると感じました。

7月1日

シーカヤックの技術講習

掲げての使い方を意識することにより、体の軸運動につながるための講習をしました。希望がパウラダーやブレイスということでしたので、考え方から説明し、有効で効果的な技術を意識するためにやらないといけないことを伝えました。あとはしっかりと反復練習をし、日々の活動で意識していただくことが重要であると感じました。